



安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化 学 品 の 名 称 : ティッシュ・テック ホルマ GO ホルマリン吸収パッド
製 品 コ ー ド : 9157, 9157J ティッシュ・テック ホルマ GO ホルマリン吸収パッド 大
: 9156, 9156J ティッシュ・テック ホルマ GO ホルマリン吸収パッド 中
供給者の会社名称 : サクラファインテックジャパン株式会社
住 所 : 〒103-0007 東京都中央区日本橋浜町 2-31-1 浜町センタービル
担 当 部 門 : 開発企画部
電 話 番 号 : 03-5643-2629 フリーダイヤル:0120-392-874 FAX番号:03-5643-3382
e - m a i l : general@sakura-finetek.com
一 般 用 途 : 切り出し作業時、臓器から流れ出るホルマリンの吸収用パッド

2. 危険有害性の要約

GHS分類

GHS 分類基準に該当しない

ラベル要素

絵表示又はシンボル : なし

注 意 喚 起 語 : なし

危 険 有 害 性 情 報 : なし

安 全 対 策 : [P201] 使用前に本製品もしくは用いる装置の取扱説明書等があれば入手すること。
[P264] 取り扱い後は手をよく洗うこと。
[P280] 必要に応じて、適切な保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
応 急 措 置 : [P312] 気分が悪い時は、医師に連絡すること。
保 管 : [P403] 換気の良い場所で保管すること。
[P420] 混触危険物質と隔離して保管すること。
廃 棄 : [P501] 内容物、容器を国際、国、都道府県又は市町村の規制に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別 : 混合物

成 分 に つ い て : 本品には、米国労働安全衛生法OSHAに指定されている危険有害性化学物質は使用されていません。危険性がほぼなく、かつ有害性の低い成分(ホルムアルデヒドを中和する成分)がパッドに浸み込まれています。本品の成分及びその含有比率は製造元(米国)のノウハウのため開示されていませんことをご了承くださいますようお願い申し上げます。

4. 応急措置

一 般 的 な 措 置 : 本品は、通常の使用条件下で、また化学物質の正しい安全な取り扱い条件下では、悪い影響を与えることはほぼない。

吸 入 し た 場 合 : 本品は布製ティッシュ(ワイプ)パッドであり、吸入のリスクはほぼない。

皮 膚 に 付 着 し た 場 合 : 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。
長時間の皮膚への接触によって皮膚刺激が生じた場合、医師の診察、手当てを受けること。

眼 に 入 っ た 場 合 : 本品はパッドであり、本リスクはほとんどない。

飲 み 込 ん だ 場 合 : 手から口へ移す程度の少量の場合、通常応急手当は不要である。
飲み込んで気分が悪い場合、医師に連絡し、診察・手当てを受けること。

急性症状及び遅延性症状の : 短時間の接触ないし曝露の場合、特徴的な症状を引き起こすことは通常はない。

最 も 重 要 な 徴 候 症 状 : 皮膚や眼に接触した場合、皮膚や眼に一時的に刺激を感じる。

応急措置をする者の保護に必 : 情報なし

要 な 注 意 事 項

5. 火災時の措置

適切な消火剤 : 水噴霧、泡、乾燥化学粉末、二酸化炭素ガス
使ってはならない消火剤 : 情報なし
特有の危険有害性 : 火災時健康に有害なガス発生リスクあり。
特有の消火方法 : 周辺火災に適した消火法にて消火
標準的消火法を利用し、また他の物質からの有害性を考慮すること。
消火活動を行う者の特別な保護 : 火災時、呼吸器や保護衣服を着用すること。
護具及び予防措置

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護 : 関係者以外立ち入り禁止とする。関係者の保護については、本SDSの8を参考。
具及び緊急時措置
環境に対する注意事項 : 使用した本製品を河川や下水に直接流してはいけない。
地方の条例に準じて廃棄する。
封じ込め及び浄化の方法及び : 本製品を回収する際は適切な保護具を着用する。
機 材
二次災害の防止策 : 情報なし

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策 : 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設置する。
安全取扱注意事項 : 使用前に本製品もしくは用いる装置の取扱説明書等があれば入手すること。
接触回避 : 『10. 安定性及び反応性』を参照。
衛生対策 : 情報なし

保管

安全な保管条件 : 換気の良い場所で保管すること。
接触を避けるべき化学物質から離れて保管する(本SDSの10を参考)。
安全な容器包装材料 : 情報なし

8. ばく露防止措置及び保護措置

管理指標

本製品の原料成分に要求されるばく露限界値、生物学的ばく露指標はない。

ばく露防止

設備対策 : 一般的な換気で通常は十分である。

保護具

呼吸用保護具 : 通常は不要
手の保護具 : 手の保護には、保護手袋の着用を推奨する。
その他の皮膚の保護は通常は不要。
眼及びまたは顔面の保護具 : 通常は不要。
皮膚及び身体の保護具 : 通常は不要。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態 : 布製パッド
色 : 青白色
爆発下限界及び爆発 : 本製品は非爆発性
上限界/可燃限界
酸化剤の機能 : 本製品は酸化剤としての機能なし

その他の性質 : 固体のため非該当、もしくはデータなし

10. 安定性及び反応性

反 応 性 : 通常の使用、保管、輸送条件下では安定である。
化 学 的 安 定 性 : 通常の扱いでは安定である。
危険有害反応可能性 : 通常の使用条件下では危険な反応は知られていない。
避 け る べ き 条 件 : 超低温、熱及び光
混 触 危 険 物 質 : 強力な酸化剤
危険有害な分解生成物 : 情報なし

11. 有害性情報

急 性 毒 性 : 急性毒性が起こることは考えにくい。
皮膚腐食性/刺激性 : 長い時間ないし繰り返し皮膚に本品が触れると、軽度の刺激ないし皮膚が赤くなるリスクがある。
眼に対する重篤な損傷 : 眼に入ると、一時的に刺激を引き起こすリスクがある。
性 / 眼 刺 激 性
呼 吸 器 感 作 性 : 呼吸器感作性
又 は 皮 膚 感 作 性 : 感作性なし

皮膚感作性

本品は皮膚感作性を引き起こすとは考えられない。

生殖細胞変異原性 : 本品中 0.1% 以上占める成分が変異原性や遺伝毒性を引き起こすことを証明するデータはなし。
発 が ん 性 : 本品は、IARC、ACGIH、NTP、OSHA で指定されている発癌性物質は含まない。
生 殖 毒 性 : 本品は生殖には影響を与えないと考えられる。
特定標的臓器毒性 : 分類されない。
(単 回 ば く 露)
特定標的臓器毒性 : 分類されない。
(反 復 ば く 露)
誤 え ん 有 害 性 : 本品の製品形態から、吸入による毒性はない。
そ の 他 の 有 害 性 : 飲み込んだ場合、消化不良の有害性のリスクがある。

12. 環境影響情報

生 態 毒 性 : 水中生物への影響に関する実験が、「サンプル(生物)に対する有害廃棄物に対する Static Acute Bioassay (静的急性生物検定) 手順」に規定されているガイドラインに準じて実施され、その結果は下記である。
結 果: 合格 (半数致死濃度: 96 時間 LC50 > 750mg/L)
残 留 性 ・ 分 解 性 : データなし
生 体 蓄 積 性 : データなし
土 壌 中 の 移 動 性 : データなし
オゾン層への有害性 : 悪影響はないと考えられる。

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法 : 本品や容器を廃棄する場合には、各都道府県、自治体の規制に従って廃棄すること。
汚染容器及び包装 : 容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。
空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国 連 番 号 : 情報なし
品 名 : 情報なし
国 連 分 類 : 情報なし
容 器 等 級 : 情報なし
海 洋 汚 染 物 質 : 非該当

MARPOL73/78 附属書Ⅱ 及 : 非該当

び IBC コードによるばら積

み輸送される液体物質

特 別 の 安 全 対 策 : 輸送の前に容器の破損、腐食、漏れ等のないことを確かめる。

輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に行う。

重量物を上積みしない。

15. 適用法令

(国内法規)

労働安全衛生法 : 非該当

化学物質排出把握管 : 非該当

理促進法(PRTR 法)

毒物及び劇物取締法 : 非該当

消 防 法 : 非該当

(米国州法)

米国労働安全衛生法 : 危険有害性物質には該当しない。

O S H A

16. その他の情報

引用文献 : JIS Z 7252 : 2019

JIS Z 7253 : 2019

Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, UN

NFPA : 本品の製造元が関係する全米防火協会 NFPA(National Fire Protection Association)が策定・管理している化学薬品の危険有害性を表示する規格である「ファイア・ダイヤモンド」表示にて、本品の危険有害性を記す。

引火性・可燃性



NFPA 危険評価

4ー非常に高い危険性を持つ

3ー高い危険性を持つ

2ー危険性を持つ

1ー若干の危険性を持つ

0ー危険性はほとんど無い

★この製品安全データシートは各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取り扱いには十分注意して下さい。

また、含有量、物理/化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。

なお、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであり、特殊な取り扱いをする場合には、その用途・用法に応じた安全対策を実施して下さい。

卸店: